

平成26年度計算書類及び附属明細書

1 平成26年4月1日から平成27年3月31日までの  
計算書類等

【計算書類等】

貸借対照表

貸借対照表内訳表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書内訳表

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

キャッシュ・フロー計算書

収支計算書

## 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	367,966,712	412,171,349	△ 44,204,637
普通預金	359,966,712	396,171,349	△ 36,204,637
定期預金	8,000,000	16,000,000	△ 8,000,000
未収利息	4,931,500	4,931,500	0
未収金	4,870,224	10,886,076	△ 6,015,852
流動資産合計	377,768,436	427,988,925	△ 50,220,489
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
投資有価証券	100,000,000,000	100,000,000,000	0
特定資産合計	100,000,000,000	100,000,000,000	0
(3) その他固定資産			
長期前払費用	266,274	532,547	△ 266,273
その他固定資産合計	266,274	532,547	△ 266,273
固定資産合計	100,010,266,274	100,010,532,547	△ 266,273
資産合計	100,388,034,710	100,438,521,472	△ 50,486,762
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	190,433,733	164,560,794	25,872,939
流動負債合計	190,433,733	164,560,794	25,872,939
2. 固定負債			
長期借入金	100,000,000,000	100,000,000,000	0
固定負債合計	100,000,000,000	100,000,000,000	0
負債合計	100,190,433,733	100,164,560,794	25,872,939
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
宮崎県出捐金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	187,600,977	263,960,678	△ 76,359,701
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	197,600,977	273,960,678	△ 76,359,701
負債及び正味財産合計	100,388,034,710	100,438,521,472	△ 50,486,762

貸借対照表内訳表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	354,255,034	13,711,678		367,966,712
普通預金	354,255,034	5,711,678		359,966,712
定期預金		8,000,000		8,000,000
未収利息	4,931,500			4,931,500
未収金	4,870,224			4,870,224
流動資産合計	364,056,758	13,711,678		377,768,436
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当預金	0	10,000,000		10,000,000
基本財産合計	0	10,000,000		10,000,000
(2) 特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000	0		100,000,000,000
特定資産合計	100,000,000,000	0		100,000,000,000
(3) その他固定資産				
長期前払費用	266,274	0		266,274
その他固定資産合計	266,274	0		266,274
固定資産合計	100,000,266,274	10,000,000		100,010,266,274
資産合計	100,364,323,032	23,711,678		100,388,034,710
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	190,161,257	272,476		190,433,733
流動負債合計	190,161,257	272,476		190,433,733
2. 固定負債				
長期借入金	100,000,000,000	0		100,000,000,000
固定負債合計	100,000,000,000	0		100,000,000,000
負債合計	100,190,161,257	272,476		100,190,433,733
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
宮崎県出捐金	0	10,000,000		10,000,000
指定正味財産合計	0	10,000,000		10,000,000
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 10,000,000 )	( )	( 10,000,000 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( )	( 0 )
2. 一般正味財産	174,161,775	13,439,202		187,600,977
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( )	( 0 )
正味財産合計	174,161,775	23,439,202		197,600,977
負債及び正味財産合計	100,364,323,032	23,711,678		100,388,034,710

## 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,200	4,200	0
基本財産受取利息	4,200	4,200	0
② 特定資産運用益	600,000,000	600,000,000	0
特定資産受取利息	600,000,000	600,000,000	0
③ 雑収益	55,027	62,384	△ 7,357
受取利息	55,027	62,384	△ 7,357
経常収益計	600,059,227	600,066,584	△ 7,357
(2) 経常費用			
① 事業費	669,660,282	636,377,002	33,283,280
会議費	0	0	0
通信運搬費	32,400	0	32,400
保険料	2,940	0	2,940
旅費交通費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
賃借料	283,553	177,515	106,038
租税公課	200	1,000	△ 800
諸謝金	8,000	0	8,000
支払助成金	667,484,439	633,860,907	33,623,532
委託費	486,000	2,296,000	△ 1,810,000
広告宣伝費	1,072,440	0	1,072,440
雑費	243,330	0	243,330
支払手数料	46,980	41,580	5,400
② 管理費	6,758,646	6,037,150	721,496
給料手当	3,192,040	2,835,212	356,828
福利厚生費	1,342,588	1,285,946	56,642
会議費	1,850	0	1,850
旅費交通費	290,785	12,902	277,883
通信運搬費	77,618	83,178	△ 5,560
消耗品費	41,142	24,179	16,963
賃借料	300,348	307,503	△ 7,155
諸謝金	1,452,195	1,429,050	23,145
租税公課	23,300	23,600	△ 300
支払手数料	36,780	35,580	1,200
経常費用計	676,418,928	642,414,152	34,004,776
当期経常増減額	△ 76,359,701	△ 42,347,568	△ 34,012,133
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 76,359,701	△ 42,347,568	△ 34,012,133
一般正味財産期首残高	263,960,678	306,308,246	△ 42,347,568
一般正味財産期末残高	187,600,977	263,960,678	△ 76,359,701
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	4,200	4,200	0
一般正味財産への振替額	△ 4,200	△ 4,200	0
当期指定正味財産増減額		0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	197,600,977	273,960,678	△ 76,359,701

## 正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	0	4,200		4,200
基本財産受取利息	0	4,200		4,200
② 特定資産運用益	600,000,000	0		600,000,000
特定資産受取利息	600,000,000	0		600,000,000
③ 雑収益	46,735	8,292		55,027
受取利息	46,735	8,292		55,027
経常収益計	600,046,735	12,492		600,059,227
(2) 経常費用				
① 事業費	669,660,282			669,660,282
会議費	0			0
通信運搬費	32,400			32,400
保険料	2,940			2,940
旅費交通費	0			0
印刷製本費	0			0
賃借料	283,553			283,553
諸謝金	8,000			8,000
租税公課	200			200
支払助成金	667,484,439			667,484,439
委託費	486,000			486,000
広告宣伝費	1,072,440			1,072,440
雑費	243,330			243,330
支払手数料	46,980			46,980
② 管理費		6,758,646		6,758,646
給料手当		3,192,040		3,192,040
福利厚生費		1,342,588		1,342,588
会議費		1,850		1,850
旅費交通費		290,785		290,785
通信運搬費		77,618		77,618
消耗品費		41,142		41,142
賃借料		300,348		300,348
諸謝金		1,452,195		1,452,195
租税公課		23,300		23,300
支払手数料		36,780		36,780
経常費用計	669,660,282	6,758,646		676,418,928
当期経常増減額	△ 69,613,547	△ 6,746,154		△ 76,359,701
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 69,613,547	△ 6,746,154		△ 76,359,701
一般正味財産期首残高	243,775,322	20,185,356		263,960,678
一般正味財産期末残高	174,161,775	13,439,202		187,600,977
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	0	4,200		4,200
一般正味財産への振替額	0	△ 4,200		△ 4,200
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	10,000,000		10,000,000
指定正味財産期末残高	0	10,000,000		10,000,000
III 正味財産期末残高	174,161,775	23,439,202		197,600,977

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
投資有価証券の評価基準は原価法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000	0	0	100,000,000,000
小計	100,000,000,000	0	0	100,000,000,000
合計	100,010,000,000	0	0	100,010,000,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000		
小計	10,000,000	10,000,000		
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000			100,000,000,000
小計	100,000,000,000			100,000,000,000
合計	100,010,000,000	10,000,000		100,000,000,000

### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
地方債証券(宮崎県)	100,000,000,000	-	-

### 5 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっている。

なお、現金及び現金同等物の残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

	前期末	当期末
現金預金勘定	412,171,349	現金預金勘定 367,966,712
預入期間が3ヶ月を超える定期預金-16,000,000		預入期間が3ヶ月を超える定期預金 -8,000,000
現金及び現金同等物	396,171,349	現金及び現金同等物 359,966,712

以上

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2で記載しているので省略する。

以上



## 財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)	預金	普通預金	宮崎銀行県庁支店(65080)	5,711,678
		普通預金	宮崎銀行県庁支店(73073)	54,171,718
		普通預金	宮崎県信連本所(18998)	300,083,316
		定期預金	宮崎銀行県庁支店	8,000,000
	未収利息	特定資産(地方債証書)から生ずる利息	ファンド事業を実施するため	4,931,500
	未収金	平成26年度ファンド事業助成金返還額	助成事業6件分	4,870,224
流動資産合計				377,768,436
(固定資産)	基本財産 特定資産 その他固定資産	定期預金	宮崎銀行県庁支店	10,000,000
		投資有価証券	地方債証書(宮崎県)	100,000,000,000
		長期前払費用	宮崎県口蹄疫メモリアルセンター	266,274
固定資産合計				100,010,266,274
資産合計				100,388,034,710
(流動負債)	未払金	平成26年度管理費未払額	平成27年3月分給料手当及び賃借料等	272,476
		平成26年度ファンド事業助成金未払額	助成事業27件分	190,161,257
流動負債合計				190,433,733
(固定負債)	長期借入金	宮崎県	投資有価証券(地方債証書(宮崎県))を購入するため	100,000,000,000
固定負債合計				100,000,000,000
負債合計				100,190,433,733
正味財産				197,600,977

## キャッシュ・フロー計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動に係るキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	△ 76,359,701	△ 42,347,568	△ 34,012,133
2. キャッシュフローへの調整額			
未収金の増減額	6,015,852	1,454,532	4,561,320
未払金の増減額	25,872,939	6,280,291	19,592,648
その他	266,273	177,515	88,758
小計	32,155,064	7,912,338	24,242,726
3. 指定正味財産増加収入			
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 44,204,637	△ 34,435,230	△ 9,769,407
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
定期預金・積金の増減額	8,000,000	8,002,406	△ 2,406
投資活動収入計	8,000,000	8,002,406	△ 2,406
2. 投資活動支出			
長期前払費用取得支出	0	710,062	△ 710,062
投資活動支出計	0	710,062	△ 710,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,000,000	7,292,344	707,656
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー			
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額			
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 36,204,637	△ 27,142,886	△ 9,061,751
VI 現金及び現金同等物の期首残高	396,171,349	423,314,235	△ 27,142,886
VII 現金及び現金同等物の期末残高	359,966,712	396,171,349	△ 36,204,637

## 収支計算書（損益計算方式）

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	6,000	4,200	1,800
基本財産受取利息	6,000	4,200	1,800
② 特定資産運用益	600,000,000	600,000,000	0
特定資産受取利息	600,000,000	600,000,000	0
④ 雑収益	50,000	55,027	△ 5,027
受取利息	50,000	55,027	△ 5,027
経常収益計	600,056,000	600,059,227	△ 3,227
(2) 経常費用			
① 事業費	688,000,000	669,660,282	18,339,718
会議費支出	30,000	0	30,000
通信運搬費支出	0	32,400	△ 32,400
保険料支出	0	2,940	△ 2,940
旅費交通費支出	150,000	0	150,000
印刷製本費支出	750,000	0	750,000
賃借料支出	100,000	283,553	△ 183,553
租税公課支出	0	200	△ 200
諸謝金支出	200,000	8,000	192,000
支払助成金支出	685,000,000	667,484,439	17,515,561
委託費支出	1,035,000	486,000	549,000
広告宣伝費支出	0	1,072,440	△ 1,072,440
支払手数料支出	65,000	46,980	18,020
減価償却費支出	650,000	0	650,000
雑費支出	20,000	243,330	△ 223,330
② 管理費	7,530,000	6,758,646	771,354
給料手当支出	3,950,000	3,192,040	757,960
福利厚生費支出	1,350,000	1,342,588	7,412
会議費支出	8,000	1,850	6,150
旅費交通費支出	74,000	290,785	△ 216,785
通信運搬費支出	120,000	77,618	42,382
消耗品費支出	100,000	41,142	58,858
賃借料支出	340,000	300,348	39,652
諸謝金支出	1,470,000	1,452,195	17,805
租税公課支出	30,000	23,300	6,700
支払手数料支出	80,000	36,780	43,220
雑費	8,000	0	8,000
経常費用計	695,530,000	676,418,928	19,111,072
当期経常増減額	△ 95,474,000	△ 76,359,701	△ 19,114,299
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 95,474,000	△ 76,359,701	△ 19,114,299
一般正味財産期首残高	263,960,678	263,960,678	0
一般正味財産期末残高	168,486,678	187,600,977	△ 19,114,299
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	4,200	△ 4,200
一般正味財産への振替額	0	△ 4,200	4,200
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	178,486,678	197,600,977	△ 19,114,299

## 2 会計監査人監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成27年5月15日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団

理事長 内田 欽也 殿

清家公認会計士事務所

公認会計士 清 家 秀 夫 

### <財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度事業の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

### 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な

表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### <財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成27年3月31日現在の平成26年度事業の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

#### 財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

#### 監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

#### 財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

#### 利害関係

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上


### 3 監事監查報告

# 監査報告書

平成27年5月15日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団  
理事長 内田 欽也 殿

監事 川崎 康司 

監事 茂 雄二 

私たち監事は、当財団の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査を行うに当たり特に考慮した監査上の危険、監査計画及び実施した監査手続き等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確めました。

以上の方法によって、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等を監査しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 事業報告に記載されている理事の職務の執行は、相当であると認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

会計監査人清家秀夫氏の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上